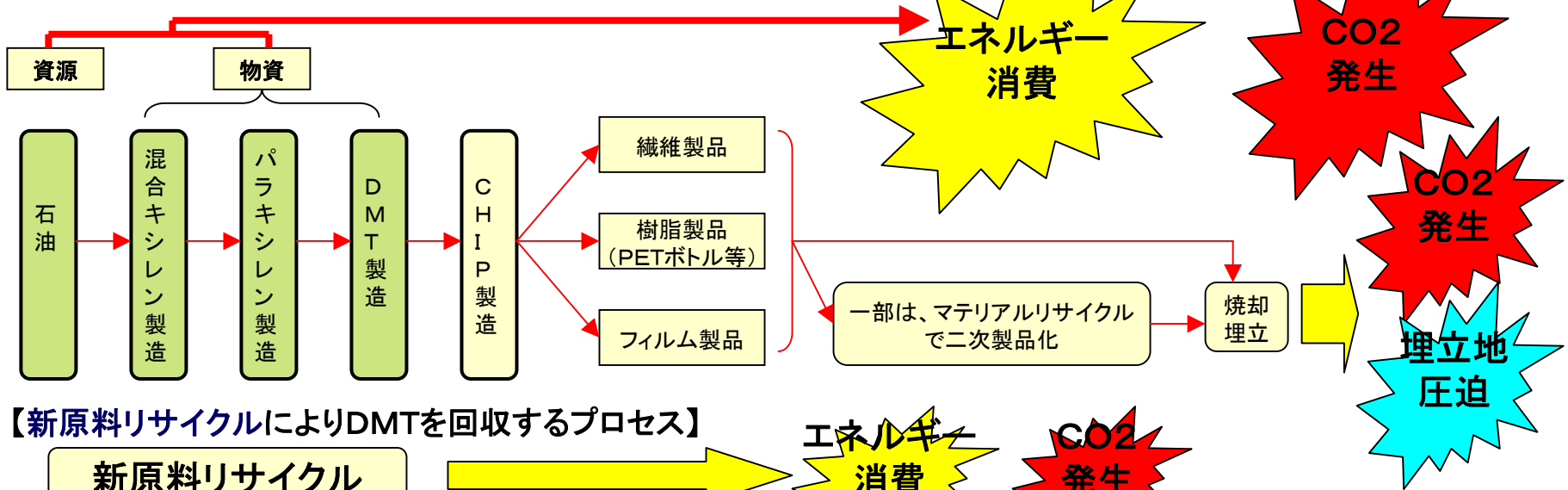


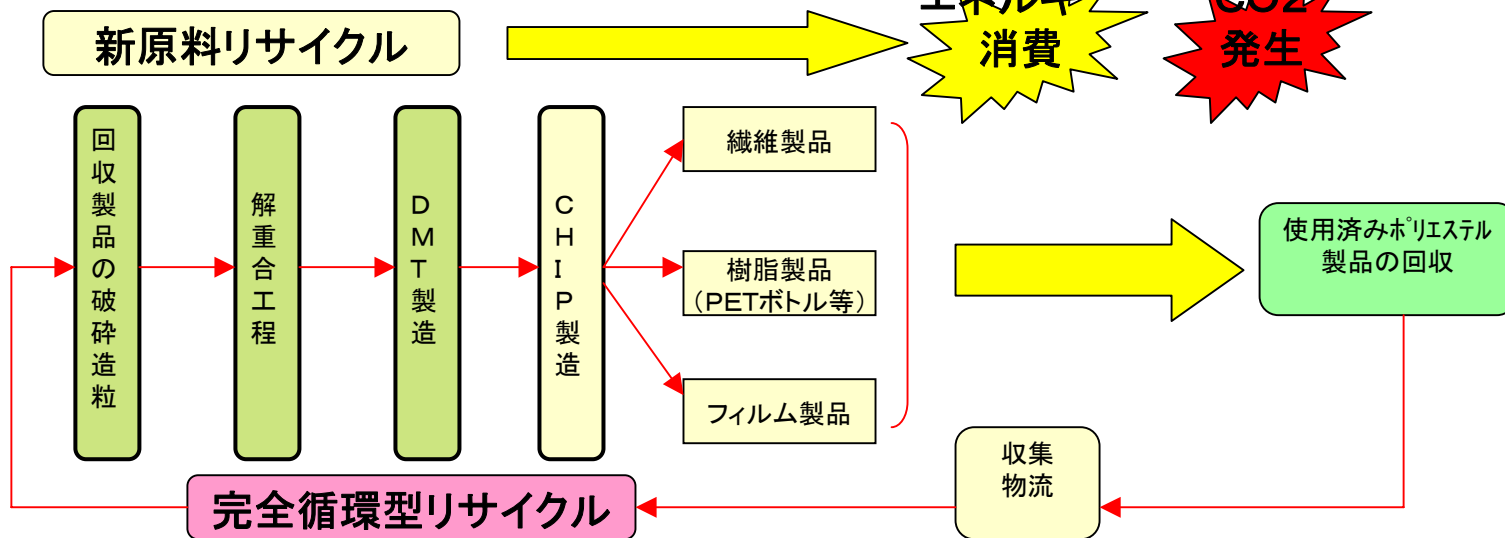
補足資料1: LCA分析によるデータ(1)

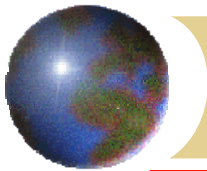
石油からの製造と原料リサイクルによる回収のプロセス比較

【石油からDMTを製造するプロセス】



【新原料リサイクルによりDMTを回収するプロセス】





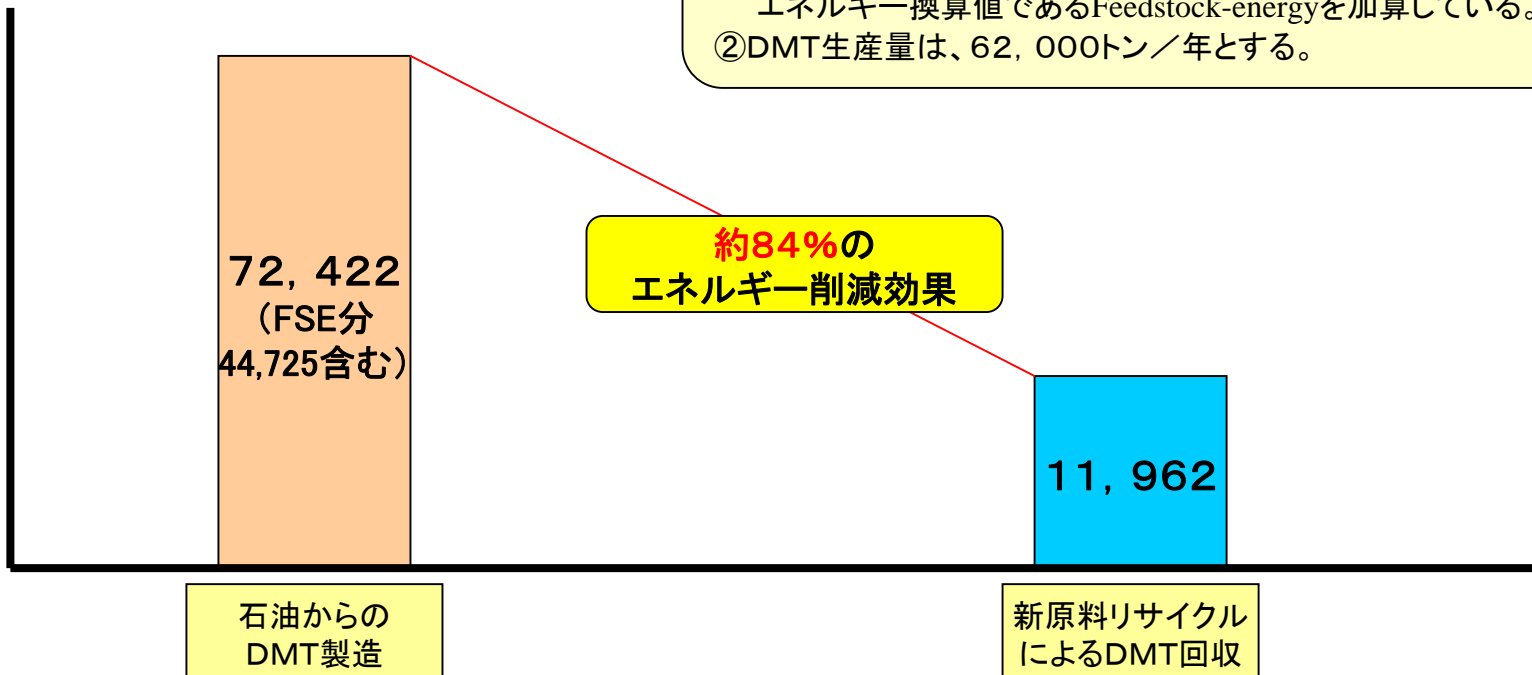
補足資料1:LCA分析によるデータ(2)

LCA調査における新原料リサイクルによるDMT回収と石油からのDMT製造とのエネルギー使用量比較

【出典】 繊維製品3R委員会(経済産業省)で報告された「繊維製品のLCA調査報告書」

単位: MJ/DMTトン

*「J」は熱量の基本単位「ジュール」
「MJ」=100万J

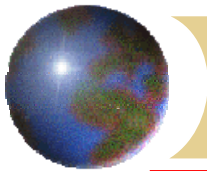


【前提】

- ①石油から製造されるDMTについては、新原料リサイクルによって石油の消費が削減される分を正當に評価するため、石油の燃焼エネルギー換算値であるFeedstock-energyを加算している。
- ②DMT生産量は、62,000トン/年とする。

(注)「Feedstock-energy」とは……

石油、天然ガス、石炭等の化石資源の含有エネルギーを、燃やした時に消費されるエネルギーとして計算したものです。LCAにおいては、Feedstock-energyの考え方をを用いるのが一般的です。



補足資料1:LCA分析によるデータ(3)

LCA調査における新原料リサイクルによるDMT回収と石油からのDMT製造とのCO2排出量比較

【出典】 繊維製品3R委員会(経済産業省)で報告された「繊維製品のLCA調査報告書」

単位:CO2トン/DMTトン

